

2 国土の気候と地形の特色

1 下の資料を見て、問題に答えましょう。

【知識・技能】



(1) 桜がさく時期は、次の地方では何月でしょう。

① 北海道の北部

② 沖縄県などの南西諸島

5 月

1 月

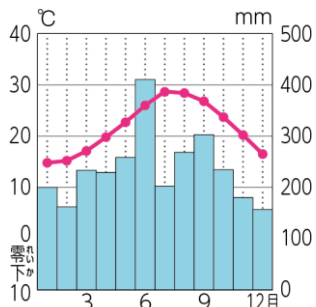
(2) 桜がさく時期のちがいや、日本の地形について話し合っています。

正しい考えには○を、まちがっている考えには×を () に書きましょう。

- ① 桜は、北の地方から順にさき始めているね。 (×)
- ② 日本は南北に細長い国土だから、桜のさく時期に大きなちがいが出るのだと思うよ。 (○)
- ③ 土地の高さも、桜のさく時期に関係しているようだね。 (○)
- ④ 日本の国土の中では、山地より、平野のほうが広いね。 (×)
- ⑤ 山脈は、日本列島の中央を通っているね。 (○)
- ⑥ 大きな平野は、川が流れこむ海ぞいに広がっているよ。 (○)

2 下のグラフA～Dは、日本のさまざまな地域の気温と降水量を表しています。次の問題に答えましょう。 【知識・技能】

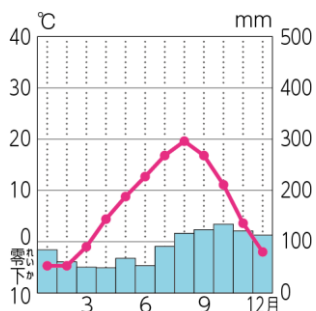
(1) グラフAとグラフBは、日本の北側と南側のどちらかの地域のものです。それぞれの気温と降水量を見て、特色を説明し、「北側」と「南側」のどちらかを書きましょう。



グラフA

特色 例：一年中、気温が高い。
雨が多く降る。

グラフAは 南 側のものである。

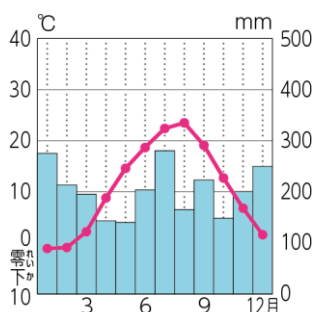


グラフB

特色 例：夏はすずしく、冬の気温がとても低い。
一年を通して、降水量が少ない。

グラフBは 北 側のものである。

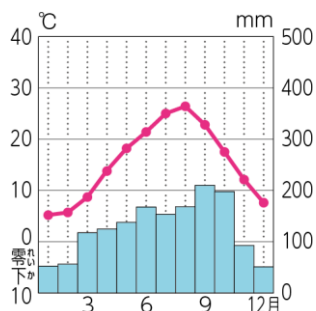
(2) グラフCとグラフDは、日本海側と太平洋側のどちらかの地域のものです。それぞれの降水量を見て、特色を説明し、「日本海側」と「太平洋側」のどちらかを書きましょう。



グラフC

特色 例：冬の降水量（雪）が多い。

グラフCは 日本海 側のものである。



グラフD

特色 例：冬の降水量が少ない。

グラフDは 太平洋 側のものである。

3 次の文章は、日本の気候の特色をまとめたものです。()にあてはまる言葉を選択し、記号を書きましょう。 【知識・技能】

日本には、春夏秋冬の(エ)があります。

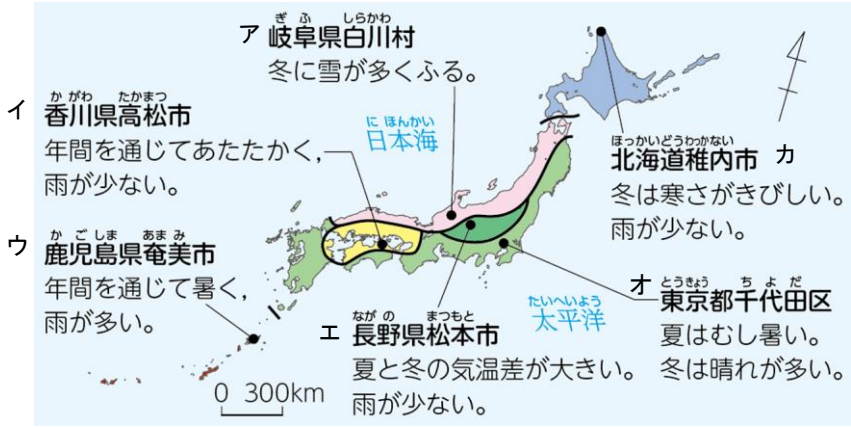
6月から7月にかけて、主に北海道以外の地域では(ク)の時期に入ります。また、夏から秋には、日本の南側から(ウ)がやってきます。

冬に(ア)の地域では、雪が多く積もります。これは、国土の中央に連なる(オ)と、(キ)のえいきょうによるものです。

- | | | | |
|--------|--------|-------|------|
| ア 日本海側 | イ 太平洋側 | ウ 台風 | エ 四季 |
| オ 山地 | カ 平地 | キ 季節風 | ク 梅雨 |

4 日本の気候は、下の図のように大きく六つに分けられます。図のア～カから二つを選んで()に書き、そのちがいの理由を考えて書きましょう。

【思考・判断・表現】



(例：ウ) と (例：カ) で
気候がちがう理由

例：南北に大きくはなれているから。

例：アとエ
…冬の季節風が山地にぶつかって雪がふり、山地をこ
えるとかわいた空気になるから。 など